

人とかがわる喜びを実感【6年生】

6年生は、「地域の人と関わりを深めよう」というテーマで総合的な学習に取り組んでいます。

これまで山形デスティネーションキャンペーンや、修学旅行でのパンフレット配布を通して多くの方とふれあい、東根のよさを発信してきた子どもたち。今回は自分たちにとってもっと身近な地域の皆様と、より深い関わりを目指して東根幼稚園、東根児童センター、本丸ホームを訪問させていただきました。

こちら側の一方的な訪問にならないように、どうすれば相手の方に喜んでいただけるかを考えながら交流の準備に取り組みました。「楽しんでくれるかな？」と、初めは緊張した顔で訪問した子どもたち。時間が経つにつれ表情も和らぎ、自然に声をかけたり手をつないだりする姿が見られました。

文化祭で演じた「セロ弾きのゴーシュ」の一部を演じたり、じゃんけん列車や風船バレー、折り紙や紙芝居など、グループ毎に考えた出し物で交流したりしました。

「もっと遊びたい。時間が足りない。」と、口々につぶやく子どもたち。1時間ほどの訪問でしたが、園児の皆さんとの交流はとても楽しく、あっという間に時間が過ぎました。「自分も6年前は、あんなに小さかったんだ。」「自分が（幼児に）教える立場になったなんて、驚いた。」と、自分自身の成長を感じることができました。

本丸ホームを訪問した際も、大変温かく迎えていただきました。子どもたちなりにお年寄りの皆様の気持ちに寄り添い、心のこもった交流をすることができました。



ここでも、子どもたちの訪問を喜んでいただき、子どもたちもとても満足した表情で学校に戻ってきました。

地域の皆様との交流を通して、人と関わる喜びや、自分自身の成長を感じることができました。子どもたちにとっては、とても貴重な学びとなりました。



